

## 令和2年度

## 事業報告書

## 特定非営利活動法人ライツオン・チルドレン

## 1 事業の成果

令和2年度は全体として新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受け、大半の活動がオンラインに移行するか、実施を見送ることとなった。社会的養護の子どもや施設に向けたパソコンの寄贈を中心に、ライツオン・チルドレンにできることを模索し、なるべく迅速に支援を届けられるよう努めた。

- 新型コロナウイルス緊急対応：4月から5月にかけて、新型コロナウイルスの影響で一斉休校・緊急事態宣言がなされる中、社会的養護の施設で子ども用のパソコンなどが不足していることをマスメディアやインターネットを通じて訴え、法人・個人からの寄付を募った。寄付金や助成金を活用して東京・千葉・埼玉・神奈川の1都3県の児童養護施設など87施設にパソコンやタブレットを342台寄贈し、子ども達がオンラインでも学習ができるよう後押しした。この活動の一部はパブリックリソース財団の「ゴールドマン・サックス緊急子ども支援基金」の助成を受けた。また、同じ時期に、東京の児童養護施設から要望があり、企業等に協力のもと、マスク4,800枚を寄贈した。
- e2プロジェクトパソコン講習会：令和元年度まで対面で行ってきた講習会を、ビデオ会議を使って行うようにした。夏から秋にかけてオンライン開催を試行し、下記の「パソコン寄贈&オンライン講習会」の準備につなげた。
- パソコン寄贈&オンライン講習会：コロナ禍の長期化を見据えて、従来のパソコン講習会をオンライン開催用に再構成し、1月からリニューアルした。ビデオ会議を使って、参加児童は各施設から参加できるようにした。この事業は、休眠預金等活用法に基づく新型コロナウイルス対応緊急支援として、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンによる助成を受けた。また、助成金を使った活動とは別に、自己資金で高知県内の社会的養護施設の児童・退所者に向けてもパソコン寄贈とオンライン講習会を実施した。
- ジョブリハ「ホテルの仕事」：社会的養護の高校生にホテルでの職業実習などのプログラムを1年かけて提供する予定だったが、新型コロナウイルス感染の影響により、協力先ホテルと協議の上でプログラム全体を中止とした。
- ジョブリハ「プログラミングの仕事」：社会的養護の高校生にプログラミングの仕事に触れる1年間のプログラムを提供した。令和元年度までは事務所にて対面で行ってきたが、2年度はほぼすべてをオンラインで開催した。
- 社会的養護出身者のための事業（ロッカーズ・ルーム）：社会的養護の出身者に向けて居場所や食事を提供し、抛り所のひとつとなることを目指す活動を行う予定だったが、新型コロナウイルスの影響で、食事会は1回しか開催できなかった。代替策として、食品などを自宅に配送した。また、個別に連絡をとり、不安な状態にある者にはその都度支援を行った。
- 情報機器の再資源化：引き続き、企業の使用済みパソコン類の寄付を募り、趣旨に賛同してくれた企業から引き取った機器の再資源化を行った。
- 社会で子育てドットコム：社会的養護や子育てに関するニュースや独自の記事を、不定期で掲載する

予定だったが、コロナ禍により他のプロジェクトに急遽スタッフを移したため、5月以降はこのプロジェクトを実施できなかった。

- 企業内セミナー：社会的養護の啓発のためのセミナーを企業等で行う予定だったが、新型コロナウイルスの影響で実施しなかった。また、令和2年度は対面でのセミナー全般を実施しなかった。
- 絵画プロジェクト：企業のオフィスに社会的養護児童の絵画を飾り、社会的養護の啓発を図る取り組みを行った。
- 社会的養護職員向けITセキュリティ/リテラシー研修：4月～5月の一斉休校・緊急事態宣言の時期に、急遽ICT対応を迫られた社会的養護の職員のために、「児童福祉施設でITを活用するための情報サイト」を開設して情報を発信した。秋からは社会的養護職員向けのITセキュリティ、リテラシーの研修の開発を進めた。研修は令和3年度から実施する。この事業は東京都福祉保健財団の「子供が輝く東京・応援」助成を受けた。
- 高知県の「里親家庭サポートセンター結いの実」のウェブサイト作成を受託し、高知県内における里親制度の普及啓発を支援した。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【18,418】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
社会的養護の措置に関する児童及び自立支援事業	【新型コロナウイルス対応】児童養護施設等に子ども用パソコンやマスを多数寄贈	2020年4月1日～2020年8月中旬	なし	4人	東京・千葉・埼玉・神奈川の児童福祉施設	87施設	10,662千円
	【e2プロジェクト】対象となる子どもに2日間のパソコン講習とパソコン1台を無償提供	7月、9月、10月、11月に各1回ずつ	ビデオ会議	のべ26人	東京と周辺の社会的養護下の高校生と出身者	14人	1,378千円
	【パソコン寄贈&オンライン講習会】対象となる子どもに1日間のオンラインパソコン講習とパソコン1台を無償提供	1月から3月の間に毎月2回ずつ	ビデオ会議	5人	1都3県及び高知県の社会的養護下の高校生と出身者	44人	3,162千円
	【ジョブリハ プログラミングの仕事】プログラミングに関する通年のスキルトレーニング。	4月～2月の間、毎月1回	ビデオ会議	5人	社会的養護下の高校生	3人	394千円
	【ロッカース・ルーム】社会的養護出身者に対して、食事や居場所を提供する事業を行う。	5月、9月、1月に1回ずつ 食品宅配。6月に食事会。	ロッカース・ルーム(渋谷)ほか。	4人	社会的養護の出身者	のべ32人	620千円
パーソナルコンピュータ及び情報機器の再資源化事業	【e2プロジェクト】企業等で使用済みとなったパソコン類の寄贈を受け、その売却益を事業に充てる。	随時	希望のあった企業の事業所など	2人	他の各事業の受益者	他の各事業の受益者	602千円

児童福祉の浸透と啓発を図る事業	【社会で子育てドットコム】ウェブサイトを通じて社会的養護の浸透・啓発を行う。	随時(常設ウェブサイト)	<a href="https://shakaidekosodate.com">https://shakaidekosodate.com</a>	2人	不特定多数	不特定多数	87千円
	【企業内セミナー】企業にて社会的養護に関する普及啓発を行う。	実施せず	実施せず	0人	0人	0人	0円
	【絵画プロジェクト】企業のオフィスに社会的養護児童の絵画を飾り、社会的養護の啓発を図る	11月～3月	企業オフィス(1社)	2人	該当オフィスの社員・訪問者など	不特定	62千円
その他この法人の目的を達成するために必要な事業	【社会的養護職員向けITセキュリティ/リテラシー研修】 (1)児童福祉施設でITを活用するための情報サイト開設 (2)研修の開発、申込受付	(1)4月 (2)10月～3月	ビデオ会議	4人	都内の社会的養護施設の職員等	0人	1,043千円
	高知県の「里親家庭サポートセンター結いの実」のウェブサイト作成。	4月～11月	<a href="https://satooyayuinomi.jp">https://satooyayuinomi.jp</a>	2人	高知県内の社会的養護下にいる児童など	不特定多数	407千円

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
なし					